りょうかわ

学校だより　令和2年9月18日発行　第10号　新潟市立両川小学校

ぱすてる 東條惠医師の講演会から

校長　　中村　雅芳

８月８日（土）に，こども輝き発達クリニックぱすてる（江南区曙町 3-4-9）の院長 東條惠（とうじょうめぐむ）先生のご講演を YouTube ライブ配信で拝聴しました。目からうろこが落ちることばかりで，２時間ほどのご講演が大変勉強になりました。その内容を再現することはとてもできませんが，以下に私の印象に残った言葉を羅列します。

・個別に人を見る上で必要な視点は，以下の７点に集約される。
　１心の理論　２抗ＡＤＨＤ関連システム　３感情コントロール　４不安　５愛着
　６学習獲得　７中枢性統合機能

・多数の人間が「心の理論」で人の気持ちを読み取り，「抗ＡＤＨＤ関連システム」で感情を抑えながら，「学習獲得（スキル等も含む）」を重ねて理屈を構築し，「感情コントロール」をすることで，本能的な欲求を制御しながら生きている。また，本能的な脳では，生存に関する「不安」を元々もっている。しかし，母を主とする保護者への「愛着」によって，周囲の人を信頼して，バランスをとりながら生きている。

・自閉症スペクトラム児への支援は，直感的共感（五感を使った抱きしめや親子療育など）と認知的共感（言葉による説明）を育てること。ＡＤＨＤ児に対する支援は，第一に，脳トレやしりとりなどで練習して鍛えていくことだが，効果はある程度限られる。抗ＡＤＨＤ薬を服用することで，抗ＡＤＨＤ機能を回復させていくのが現実的である。

・「四角い窓（電子デバイスや電子メディア）」と「虐待手法の子育て（褒めずに怒ってばかりで，そして手が出て‥）」が，「心の理論」と「抗ＡＤＨＤ関連システム」の不調を助長する。根拠は不明だが，経験的にこれらをやめると，好調に転じる例が多かった。

・「感情コントロール」の不調には「感情コントロール練習を重ねる」という対応。例えば怒りが収まらない場合は，その場を離れる，後ろを振り向く，兄弟げんかには間に段ボール板を入れるなど視覚的情報を遮断して脳を保全すること。

・「不安」が不調な子どもは，変更や変化に弱く，急な変更は受け付けない。その対応としては，情報を削減・整理して提示すること，視覚支援・構造化で時間の流れを提示すること，スモールステップで情報を分割すること，小グループにすることや教室内に塹壕（逃げ場）を作ること，抗不安薬を投与することなどが考えられる。

・「愛着」の不調には，愛着修復プログラム（虐待手法よさようなら作戦，四角い窓よさようなら作戦，愛のくさび作戦）で対応し，子どもにとって心の安全基地，探索基地を作ってあげたい。

ありがたいことに，今後も全５回の予定で YouTube ライブ配信（無料）をしてくださるそうです。子育ての大きなヒントとなります。ふるってご参加いただければ幸いです。興味のある方は，次の URL までアクセスしてください。（https://form.run/@gugun2020b）

第２回：１０月３日（土）１０：００～１２：００　※３～５回の予定は省略
脳システム論＆個別支援計画作り＋こころの理論の成長と人の生き様

新しいスタッフが加入しました！

9月から学習指導員としてお世話になっています近藤哲夫（こんどうてつお）と申します。よろしくお願いいたします。

自宅は秋葉区です。勤めのないときは，ウォーキングをしたりスポーツセンターで軽い筋トレをしたり，クラシックギター教室に通ったりしています。また15年くらい教育カウンセリングをやっています。子どもたちの話を聴くのが好きです。

さて，二十数年も前になりますが，旧酒屋小学校に勤めたことがあるので両川地区は懐かしい地です。田園地帯に立つ両川小学校は，これまで近くを通るときに中学校と並び，とても美しい校舎だな‥いつか機会があったらいってみたいな‥きっと元気な子たちがのびのび活動しているんだろうなと想像していました。ちょうど今回，学習指導員のお話をいただき，両川小学校に短期間ではありますが勤務することができとても嬉しく思っています。

子どもたちと話してみると自分の好きなこと得意なこと苦手なこと，友達のこと兄弟のことなど，ちょっと照れながら笑顔で話してくれます。その表情からまじめさと人懐こさを感じます。なかなか簡単なことではないのですが，寄り添いながら子どもたちの日常のことに耳を傾けてあげることが大切だなとも感じます。春頃から新型コロナの発症が広がったことから，子どもらしい伸び伸びとした活動が狭められてきたと思いますので，日々の学習や諸活動で少しでもお手伝いしていけたら思います。よろしくお願いいたします。

このたびスクール・サポート・スタッフとしてお世話になります菅原幸子（すがはら　さちこ）です。

私には小学1年と3年の息子がおります。コロナ禍での学校で，子どもたちがどのように学び，交流しているのかとても興味があり，サポートさせていただきたいと思い，応募しました。

両川小学校の子どもたちと同じ時間を過ごし，日々のサポートをさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。